三省堂 国語教育

ことが考が

a new way of learning Japanese



特集伝統的な言語文化

vol. 20



第2回 小学校国語教育セミナー

2009年7月28日「第2回 小学校国語教育セミナー」を開催いたしました。 どのワークショップも、活発な交流とたくさんの学び合いが生まれました。参加者の声を紹介します。 詳しい内容は、三省堂のウェブページに掲載しています。(http://www.sanseido-publ.co.jp)

ワークショップ A

支え合ってつくる「書くこと」のカタチ

大杉 稔



自分で書いてみることでよく わかりました。また、すぐに 取り組める内容で勉強になり ました。

ワークショップ B

リテラチャー・サークルで広がる 読書の授業の楽しみ



足立 幸子

・日頃の活動を意識的に行うこ と・グループで読むことが方 法化されているので、自分にも できるような気持ちになった。

ワークショップ

「読むこと | の挑戦! ―説明的文章の授業改革・ 河野 順子



- ・具体的な実践で大変勉強にな りました。
- ・批評型の読みが目からウロコ でした。

ワークショップ

笑いを誘う民話や 古典の語りと音読と群読と



高橋 俊三

教師としてしてあげられるこ と、教師としてしてしまって いることを振り返ることがで きました。

ワークショップ

物語の森を仲間と歩けば

読書へのアニマシオン・僕らは物語探偵団-



岩辺 泰吏

主催:三省堂

・実際に子どもになった気分で 課題を体験でき,楽しく読書 活動するということについて 考えることができました。

ワークショップ 賢治・南吉を読み直す

宮川 健郎



・ひとつの教材から、いろんな 授業が生み出される楽しさ と, 意外さがあって, いいワー クショップでした。

ワークショップ

メディア・リテラシーを生かした授業改善

-新時代に求められる「読み書き能力 | をどうやって育成するか―



- 中村 敦雄
- り、とても刺激になった。 ・「言葉」 「メディア」 について、 自然に考えが深まった。

・意見交換の場がたくさんあ

ワークショップ

書くことの学びを支える 国語科書写の実践



松本 仁志

・現場の問題点とともに、改善 点と今後の課題がわかり、二 学期からの授業に役立つと思 います。

全 | 体 | 会

「PISA型学力」の 疑問に答える ~北川達夫先生とともに~



北欧文化教育総合研究所所長

対 談

あまんきみこさん 岡田淳さん



「ことばと、こころと、こどもと」

ことは。学び

三省堂 国語教育

a new way of learning Japanese





CONTENTS

2 巻頭エッセイ 伝わることば 今泉 清保

特集 伝統的な言語文化

- 4 「親しむこと」への方略 中洌 正堯
- 8 「声の文化」としての「伝統的な言語文化」 宮川 健郎
- 12 不易流行論に立つ学習指導の可能性 大木 圭

実践交流

俳 句

14 小学国語 ばいくにチャレンジ!

~生き生きと表現し、ともに学び合う児童の育成~ 高須賀 智子

16 小学国語 子どもの学ぶ力を育てるために

一文学作品における書き込みの内容と方法 山本 光男

18 小学国語 自分の考えを表現できる子どもたち

〈書くことを中心に〉 二宮 龍也

20 小学国語 教科書で学び方、個別教材で活用

「伝記を読み生き方を考える」から 渋江 隆夫

22 小学国語 国語辞典との出会いを楽しいものに!

~まるごと味わう国語辞典から学習を始めよう~ 山村 美枝子

24 中学国語 自尊感情を高める「ことば」を大切にした教育活動の工夫と実践 佐藤 文

26 中学国語 古典学習への興味・関心を高める国語科学習指導

―テレビドラマの動画を活用した相聞の短歌作成の実践から― 豊瀬 仁須

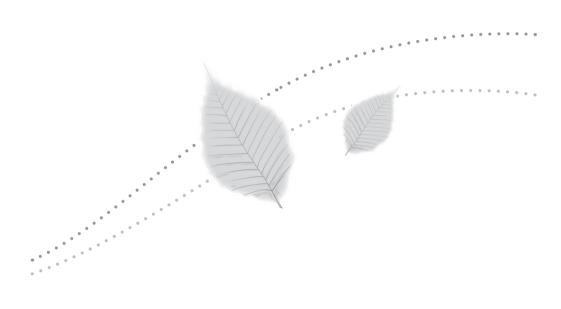
28 読解リテラシーと読書指導 第3回 エレクトロニック・リーディングと読書指導 足立 幸子

- 30 ことばが辞書に入る瞬間 第6回 漢字辞典を知的に楽しむ 林 四郎
- 32 **話力・和力・輪力** 第3回 子どもの考えるユーモア 高橋 俊三
- 33 編集後記

巻頭エッセイ

伝わることば

今泉 清保



撮影の前、担当ディレクターに「一言一句、言を国的な調査のやり方を、全国の担当職員に教えるためのDVDで、私はそのやり方を伝える役。 を国的な調査のやり方を、全国の担当職員に教えを国的な調査のやり方を、全国の担当職員に教え

した。
葉を変えずに読んでください」と言われて愕然と 撮影の前、担当ディレクターに「一言一句、言

世界のでは、は、は、は、は、は、は、が、は、が、は、がらいいらしい。とにかく、何人もが内言葉」だからいいらしい。とにかく、何人もが内言葉」だからいいらしい。とにかく、何人もが内言葉」だからいいらしい。とにかく、何人もが内言葉」だからいいらしい。とにかく、何人もが内言葉ないない言葉もあった。辞書に載っていない言葉が並んでいて、中には辞書に載って、は、<l>は、<u

一般的にアナウンサーは、原稿を読むのが仕事であれば、一体何がニュースなのか、内容を理解であれば、一体何がニュースなのか、内容を理解であれば、一体何がニュースなのか、内容を理解であれば、一体何がニュースなのか、内容を理解であれば、一体何がニュースはとても聞きづらいい。新人アナが読むニュースはとても聞きづらいが、あれは技術の未熟さに加えて、文字を追うのに精一杯で内容が理解できていないからだ。

いまいずみ せいほ 国立国会図書館職員、福岡 放送アナウンサーを経てフリー。テレビ東京「レ ディス4」司会。これまでの出演番組は「はなま るマーケット」「スーパーモーニング」など多数。

して、読まれることを前提にして書かれていない文章を、無理やり声に出して読まなければならないこと。役所の人が作った原稿は、誰も声を出しいこと。役所の人が作った原稿は、誰も声を出しいこと。役所の人が作った原稿は、誰も声を出しいこと。役所の人が作った原稿は、誰も声を出しいこと。役所の人が作った原稿は、誰も声を出しいこと。役所の人が作った原稿は、誰も声を出しいるな言葉はとても読みづらいし聞きづらい。とそんな言葉はとても読みづらいし聞きづらい。とたかく私なりに、おそらく大事であろうところをゆっくり読んだりして、なんとか仕事を終えたが、残念ながらDVDを見る人には伝わらないだろう。伝える役の私がよくわかっていないんだから。原稿を理解していないと伝わらない、というのは本当だ。以前こんなことがあった。

えたいということだった。人でやっていたが、次回からはもう一人男性を加れるもの。2回目までは女性のアナウンサーが一うに見えるCMで「インフォマーシャル」と呼ばらに見えるCMで「インフォマーシャル」と呼ば

険について取材し、生放送で説明をしていたので、 が大変だったので、二人でやりましょう、という が大変だったので、二人でやりましょう、という が大変だったので、二人でやりましょう、という が大変だったので、二人でやりましょう、という が大変だったようだ。これは私にとっては苦痛で とになったようだ。これは私にとっては苦痛で 出来上がった原稿は、やはり「一言一句変えては 出来上がったようだ。これは私にとっては苦痛で とになったようだ。これは私にとっては苦痛で いけない」ものだった。女性アナが一人で読むの いけない」ものだった。女性アナが一人で読むの いけない」ものだった。全性のとM

てもらったりした。すいと思いますが」とスポンサーに提案して変えを一切変えずに言葉を変えて「この方が伝わりやを一切変えずに言葉を変えて「この方が伝わりやの内容も理解できたし、読みにくい文章は、内容保険についてかなり知識がついていたのだ。原稿

を用プロデューサーに「問い合わせの電話が、 後日プロデューサーに「問い合わせの電話が、 をれまでより百件以上も増えたんですよ」と言われて驚いた。これはもちろん私に人気があって増れて驚いた女性アナよりも、内容を理解して読んだんでいた女性アナよりも、内容を理解して読んだんでいた女性アナよりも、内容を理解して読んだんでいた女性アナよりも考えたの人に伝わったということだろう。

同様に、自分はそうは思っていないのに、原稿 や台本に書いてあるからとそのまま言うと、やは り伝わらない。そう思っているように聞こえない り伝わらない。そう思っているように聞こえない りても説得力が無いのはそのせいだ。「知ったふ しても説得力が無いのはそのせいだ。「知ったふ り」「わかったふり」は通用しない。自分が、自 分の頭で考え、わかったことしか伝わらない。若い 年日、生放送の前に考える。きょう、いちばん 伝えたいことは何だろう。そして、その伝えたい ことは、どう言ったら見ている人に伝わるだろう。 私は、何かが伝えたくてこの仕事をしている。だ 私は、何かが伝えたくてこの仕事をしている。

伝統的な言語文化

小学校での学習指導の課題と方策を追いました。学習指導要領の改訂により新設された「伝統的な言語文化」とは何か。

「親しむこと」への方略

中別 正堯

ことわざ等は「使うこと」を目ざす

使うこと」という条項がある。とわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、とわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、い学校中学年の「伝統的な言語文化に関す

ざ等の条項は「使うこと」とあり、積極的で度の育成」にある。その中にあって、ことわ「低学年から触れ、生涯にわたって親しむ態的な言語文化に関する事項」の基本精神は、今回の小学校学習指導要領における「伝統

という事情によるのであろう。において使われてきたし、今も使われているとはちがって、ことわざ等が実際の言語生活ある。これは、いわゆる古典などの言語文化

言語能力育成の場は今?

ある。それからC「家庭」であり、さらにDにはB「(他教科等をふくむ)学校教育」で一般的には、まずA「国語教室」である。次一般的には、まずA「国語教室」である。次にその時処位に違いが生じると思われるが、

·社会(マスコミ等)」である。

庭」の力を借りるのが得策である。 にれらの場におけることわざ等の「知る」 にできる。しかし、「使う」、ことはそれなりにできる。しかし、「使う」ことの生きた場としては、取り扱うことわざ等の質量にしろ、としては、取り扱うことわざ等の質量にしろ、としては、取り扱うことわざ等の質量にしろ、としては、取り扱うことわざ等の質量にしろ、としては、取り扱うことわざ等の質量にしろ、としては、取り扱うことわざ等の質量にしろ、としては、取り扱うことわざ等の「知る」

「家庭」の力を借りる方略

学年の配当表を作る。第一に、ことわざ等の低学年、中学年、高

各学校の教員全員で、対象のことわざ等の をの後、学年団に分かれ、実践感覚によっ て低学年で扱えるものを選び出す。中学年団 は低学年のものをふまえて、次の段階を選び 出す。こうして作った学年配当表は、固定的 なものではなく一つの目安とし、実践によっ て改訂していく。この配当表は、子どもたち で改訂していく。この配当表は、子どもたち で改訂していく。この配当表は、子どもたち で改訂していく。この配当表は、子どもたち で改訂していく。この配当表は、子どもかち ながら自分たちで作るのが絶対いい。自分た ながら自分たちで作るのが絶対いい。自分た ながら自分たちで作るのが絶対いい。自分た ながら自分たちで作るのが絶対いい。自分た

けることができる。 配当表は、子どたちが進学する中学校にも届 見通した語句指導のヒントにもなる。さらに、 生活科や道徳で使える。配当表は次の学年を

す。」という情報を伝える。 家庭に「今、こんなことわざを勉強していま などを発行し、ことわざ等のコーナーを設け、 各学級で「学級通信」「国語通信

等が唯一のものと思われる。これを機会に、 を超えてできる言語文化は、今や、ことわざ ことわざ、エピソードなど)を提供する。 使う、使わない」とか、そのことわざをめぐ るように、ことわざをめぐる話題(相反する る。場合によっては、そういう話し合いにな る生活観や人生観などの話し合いを期待す いる、いない」ではなく、「どういうときに 「家庭」との共育をはかりたい。 ともあれ、家庭でそういう話し合いが世代 家庭では、「知っている、いない」「憶えて

展させる。 や新たな発見への評価など、次の学習へと発 文章化したりして、問題になったことの解決 第三に、家庭での話し合いを発表したり、

言語能力育成の場のありよう

てC「家庭」の支援を求めた。その裏側でひ ことわざ等を「使う」ことの生きた場とし

> こと」それぞれの任務も見えてくる。 化について「知ること」「使うこと」「親しむ る。これらの関係において、伝統的な言語文 か、内なる自覚と外からの期待を明らかにす Dそれぞれにおいてどういう役割を果たすの 考える必要がある。 言語能力育成の場もA~ とわざ等から伝統的な言語文化全体に広げて 環境づくりである。そうなると、 力育成の場をふくめた国民の言語生活向 そかに大胆に願っていることは、 次には、こ 他の言語能 上の

けに、言語能力育成の場(言語環境) 自力で世界を広げていくのには抵抗が多いだ ことである。伝統的な言語文化は、学習者が の累積としての態度形成には至らないという して、B~Dの場での刺激、反応が弱ければ、 教室」で、ある程度「知ること」ができたと ようによるところが大きい。 「親しむ」という感性ははたらかず、それら この時点で言えることは、学習者が「国語 のあり

ことば学びの日常カリキュラム

を論じて、教科の論理を具現化した教科書の が、ここではカリキュラムをせめてみたい。 ことわざ等についての方略もその一つである んな言語環境の整備ができるだろうか。 では、伝統的な言語文化に親しむためにど かつて「ことば学びの日常カリキュラム」 先の

> のであった。(注1) カリキュラムの参考例の一つは次のようなも て伝統的な言語文化への架橋も容易になる。 る点でも有効である。と同時に、これによっ 再発見にもなるし、ことばを実感的に把握す で学習する。そのことは、「自然と生活」の ならその土地の四月の時季にふさわしい題材 キュラムを横糸にすることを提案した。 基づいて生活の論理を具現化した日常カ カリキュラムを縦糸にし、「季節・風土」に 四月

- 桜咲くころ
- 青葉若葉の色どり

2

- 3 雨も楽し
- 4 氷室の日
- 太陽 お日様 今日は

5

- 6 夜の秋見つけた
- 僕のお月見 私のお月見

7

梢の秋 植物(花)動物 紅葉 草もみじを見つける (鳥・虫) に寄せて

8

表現)

10 9

好きな食べ物

嫌いな食べ物(味覚の

光の春 見つけた春

11

雪を待

12 13 五節句 折り折りの季節感

した伝統への橋渡しもあり、「季節・風土」 て設定されたものである。「雪月花」を軸に これは、中学校での短作文の年間課題とし

る。をとらえる指導者の目配りもよく利いてい

と」への転換をはかりたい。 と」への転換をはかりたい。

飛び石カリキュラムの提案

時間にも加わってもらう。(学習材)を取り立て、飛び石ふうに進んで、(学習材)を取り立て、飛び石ふうに進んで、伝統的な言語文化に親しむカリキュラムを構伝統的な言語文化に親しむカリキュラムを構っては、時季ごとに一~二時間程度、話題

づくりを推進する。ている」ことを「家庭」に届けて、言語環境を読んだり、こんなことについて考えたりしを読んだり、こんなことについて考えたりしる通信」「国語通信」等で、「今、こんなものの実践的展開も、ことわざ等と同様、「学

を掲げてみよう。 以下、小学校高学年の飛び石例のいくつか

(ア) 小学唱歌「夏は来ぬ」

四季の移り変わりの初めに、堀内敬三・井四季の移り変わりの初めに、堀内敬三・井

選択したい。
選択したい。
というの展開のために、一番と五番をするか。学びの展開のために、一番と五番をある。五番まである歌詞を全部扱うか、選択ものの一つに「夏は来ぬ」(佐佐木信綱)が

取り戻したいと願う。

歌詞の一番では、「うの花」「時鳥」「忍音」

五番では、「さつきやみ」「蛍」「水鷄」「早苗」

などの事物確認がいる。私の現在の生活圏で

の花」を見、「時鳥」の声を聞くことができ

たとしても、生活圏にはそれをそれとして確

たとしても、生活圏にはそれをそれとして確

かめ合う仲間がいない。知らないという人が

あり戻したいと願う。

はあけぼの。」につづく、である。ここへくると、枕草子第一段の「春の下闇」などをヒントにする。そのやみへ「蛍」の結びつきを考えてみる。「五月雨」や「木み」の結びつきをみ」ということば、「さつき」と「や

へをかし。 なほ蛍飛びちがひたる。雨などの降るさ 夏は夜。月のころはさらなり、やみも

(イ)和歌「世の中はなにか常なる」 さらに意欲次第で、「時鳥」の歌、「蛍」のという表現を紹介することができる。

私は、国語教育における「歳事(時)記的方法」「風土記的方法」を主張し、その実践の書(『ことば学びの放射線』 三省堂)に、花の章、川の章、風の章、鳥の章、虫の章、鬼の章、川に関して、私のとは違った伝統的な言語川に関して、私のとは違った伝統的な言語で化の視点からコンパクトに指摘した論考がある。(注2)

論考は、川の流れを撮った美しい写真などを導入にしながら、古今和歌集よみ人しらずを導入にしながら、古今和歌集よみ人しらずの歌「世の中はなにか常なる明日香川昨日のの歌「世の中はなにか常なる明日香川昨日のにある人と住家と、またかくのごとし」を大にある人と住家と、またかくのごとし」を大にある人と住家と、またかくのごとし」を大にある人と住家と、またかくのごとし」を大いたことを話し合わせる。こうして、「無常」という主題、昨日・今日・明日という表現技という主題、昨日・今日・明日という表現技法などの「伝統」の内実を把握させようとする。

(ウ)「かぐや姫の居場所」

中秋の名月が近づいたころ、竹取物語を取

り上げる。

しうてゐたり。
しうてゐたり。
いまはむかし、たけとりの翁といふも
いまはむかし、たけとりの翁といふも

情報を出し合って作り上げる。 この後、竹取物語のあらすじを、みんなの

メージかを想像してもらう。単にそこにいるイメージか、すわっているイ度、かぐや姫の登場場面に帰る。「ゐたり」は、物語の全体像をおさえたところでもう一

長近よく使われる「居場所」「立ち位置」 をのことばがあることなどから、「居」に「す をのことばがあることなどから、「居」に「す わる」という字義のあることを知る。

だったのだろうと問う。

ところで、かぐや姫の求める居場所はどこ場所」とはどういう場所のことかを考える。
場所」とはどういう場所のことかを考える。
ところで、かぐや姫の求める居場所はどことにもある。

ほかに、月にかかわって、高学年でいっしょ

「風」に関する古典も少なくない。古今和歌

イミングになるか、である。
兎」という長歌がある。どういう飛び石のタに読んで考えてみたいものに、良寛の「月の

(エ) 高等小学読本「風」

れる。 定読本から、学習材を取り出すことも考えら 詩歌・文章を選ぶ手法でいえば、かつての国 『日本唱歌集』などで、近代以降の文語調の

明治三六・一○)の「第十九課 風。」のよう明治三六・一○)の「第十九課 風。」のよう

章である。(評価論)で結ぶ。まとまりのよい説明的文ではどうなるかを述べ、おわりに風の功罪論風の起こる原理を述べる。それが地球レベル風の起こる原理を述べる。それが地球レベル

2

はなはだ、多し。 らすなど、 などのうるほへるを乾かし、 潔なる空気を吹きはらひ、道路、 雨を運び来りて、 は、ほどよく、吹きて、気候をやはらげ、 れらに害をおよぼすことあれども、多く 屋根をまくり、船をくつがへすなど、わ 風は、時としては、 農作物を荒し、 われらに利益を与ふること、 植物の生育を助け、不 樹木、 暴風、 垣根を倒し、 帆前船を走 颱風となり 洗濯物

集の「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」(藤原敏行朝臣)の歌や、源氏物語の「野分」の描写などは、立秋のころ、台風の過ぎた翌日など、抵抗なく実感をもって読めるのではあるまいか。 事例に示したものは、伝統的な言語文化について「知ること」よりも、「考えること」を意図した。そのほうが「親しむこと」にはまり近いと思うからである。

注 |

1 森田百合子「季節の言葉と出会う―短文のすす

語教育』通巻三四八号、東京法令、二〇〇九・五)―小学校における古典教育を考える」(『月刊国藤本宗利「『伝統的言語文化』をどう指導するか

国語論究の会代表。国語教育地域学を考究。語教科書「現代の国語」著者代表。国語教育探究の会・語教科書「現代の国語」著者代表。国語教育探究の会・なかすまさたか、兵庫教育大学名誉教授。中学校国

「声の文化」としての「伝統的な言語文化」

宮川 健郎 武蔵野大学文学部

「伝統的な言語文化」とは何か

新しい学習指導要領に、「伝統的な言語文化」について指導する。』とある。「国語の特質に関する事項」が、「C読むこと」の指導を通して、次の事項が「C読むこと」の指導を通して、次の事項が「C読むこと」の指導を通して、次の事項が「C読むこと」の指導を通して、次の事項とは何か。

ではない。(学習指導要領解説では、「児童のではない。(学習指導要領解説では、「生話や本語・伝承などの本や文章」を使わざるをえないとしても、本来、昔話やを使わざるをえないとしても、本来、昔話やを使わざるをえないとしても、本来、昔話や神話・伝承は口承のものだから、「本や文章」を使わざるをえないとしても、本来、昔話や神話・伝承は口承のものだから、「本や文章」を使わざるをえないとしても、本来、はいる。(学習指導要領解説では、「児童のではない。(学習指導要領解説では、「児童のではない。(学習指導要領解説では、「児童のではない。(学習指導要領解説では、「児童のではない。(学習指導要領解説では、「児童のではない。(学習指導要領解説では、「児童のではない。(学習指導要領解説では、「児童のではない。(学習指導要領解説では、「児童のではない。(学習指導要領解説では、「児童のではない。)

国国民童話』(同文館)あたりのようだ。 古い資料は、 見ると、文字化され、 本昔話大成』別卷·資料編(角川書店) なるのは、近代以降だろう。関敬吾他編 すれば、昔話が文字として記録されるように きたもので、江戸の赤本などでの再話を別に ることが必要である。」とことわっている。) 慮し、易しく書き換えられたものを取り上げ 発達の段階や初めて古典を学習することを考 一九八〇年)の「地域・県別資料集目録」を 昔話は、文字をもたない庶民が語り伝えて 一九一一年の石井研堂『日本全 刊行された、 もっとも 日

日本の神話は、早い時期に、『古事記』(七二二年)、『日本書紀』(七二〇年)や『風生記』といった書物になったけれども、これ生記』といった書物になったけれども、これまになったは日承のものだ。だいたい、漢もたなかったはずである。日本に漢字が入ってきたのは、四世紀末から五世紀のはじめご

るだという(樺島忠夫『日本の文字』岩波新ろだという(樺島忠夫『日本の文字』岩波新書、一九七九年)。この漢字をもとに、平仮名も片仮名も作り出されたのである。文化人名も片仮名も作り出されたのである。文化人名も片仮名も作り出されたのである。文化人名も片仮名も作り出されたのである。文化人名も片仮名も作り出されたのである。文化人名もけんでは、声だけでコミュニケーいうが、日本もかつては無文字の社会だった。いうが、日本もかつては無文字の社会だった。いうが、日本もかつては無文字の社会だった。と文字社会の歴史』岩波書店、一九七六年)と文字社会の歴史』岩波書店、一九七六年)とである。

要だし、短いエピソードをつぎつぎと語って 字を使いこなせる能力と、そうした能力を中 文化」とする)が「文字の文化」(同じく「文 とばのそうした性格を中心に形成されている あるにしても。だからといって、 ていって、結果として長い物語になることは ることはむずかしい。短いエピソードを連ね いくことはできても、長い物語をずーっと語 るそばから消えていくので、くりかえしが必 W-J・オング『声の文化と文字の文化 れ「声の文化」と「文字の文化」と呼ぶのは (オングは「ことばの声としての性格と、こ 一九九一年)である。 一九八二年/桜井直文訳、 文字をもたない文化ともつ文化を、 口頭による表現は、 藤原書店、 「声の文化

してはたらく。
してはたらく。
れけではない。それは、ただ別の文化なのだ。
おけではない。それは、ただ別の文化なのだ。

可変的なテクスト

で可変的なものであることだ。徴は、それが固定的なものではなく、あくま「声の文化」が生み出す口承のテクストの特

れた「団子智」。いわゆる「だんごどっこいれた「団子智」。いわゆる「だんごどっこいによってバリエーションがある。 によってバリエーションがある。 によってバリエーションがある。 によってバリエーションがある。

おいしかったものの名前を唱えながら帰るれた「団子聟」。いわゆる「だんごだんご」とら青森県まで、全国に広く分布している。高ら青森県まで、全国に広く分布している。高知県香美郡の話だけれど、この話は、鹿児島県から青森県まで、全国に広く分布している。高知県香美郡の話で、聟は「だんごだんごとっこいたとえば、第八巻『笑話・一』におさめられた「団子聟」。

こらしょ、やっこらしょ」になってしまう。 なテクストなのだ。 られる可能性をもっている。 り手と聞き手のあいだで、 手によってちがいがあるだろう。昔話は、語 えば、同じ地域で語られる同じ話でも、語り とこしょ」、 ところが、この掛け声は、 しょ」といったために、唱えることばが「やっ が、途中で小さい谷を渡るときに「やっこら しょ」というふうにちがいがある。さらにい 「ひょっとこせ」、佐賀県東松浦郡なら「うん 福岡県久留米市なら「どっこい いつでも作り変え 大分県速見郡なら 昔話は、 可変的

世話にかぎらず、「声の文化」が生成する でのことを考えるとよくわかる。新学習指導要のことを考えるとよくわかる。新学習指導要 が、「饅頭こわい」「初天神」といった落語が学校の国語の教科書には、「寿限無」「ぞろぞ 学校の国語の教科書には、「寿限無」「ぞろぞ が、国行の小中 はふくまれないかもしれないが、現行の小中 はふくまれないかもしれないが、現行の小中 はふくまれないかる。落語もまた、師匠から が、「一方で が、「声の文化」が生成する がる。

音をしたりせず、ひたすら聞く。三回、噺をの噺を演ずる。弟子は、メモをとったり、録弟子の前で、(たぶん間をおいて)三回、そある。弟子が新しい噺を教わるとき、師匠は、本語の世界に「三遍稽古」ということばが

増やしていくのだ。 増やしていくのだ。 は、その噺を高座にかけることができる。 子は、その噺を高座にかけることができる。 おいて)、弟子がその噺を師匠の前で演ずる。

ではなく、「プロット」を聞きとろうとする 弟子は、 なさる方だ)と、ある仕事をとおして知り合 んだなと考えた。 るほど。私は、文学研究のことばでいえば、 えるんです」というふうにおっしゃった。な ままそっくり覚えるんですか」文我さんは、 をおぼえるとき、 たことをお聞きしてみた。 いになったばかりのころ、以前から疑問だっ 四代目桂文我さん(口さばきのきれいな噺を 「いえ、そうではありません。 もう十年以上前になるけれど、 師匠の噺の「ストーリー 師匠の語る一言一句をその 噺の骨組を覚 「落語家が噺 上方落語 を聞くの

なられた。」がストーリー、「王が亡くなられ、をいれた。」がこれでいる。「ストーリー」と「プロット」を区別し、それぞれの例をあげるのは、E・を区別し、それぞれの例をあげるのは、E・が記されている。「ストーリー」と「プロット」 簡単な国語 「ストーリー」と「プロット」、簡単な国語

る。

三遍稽古の場で、弟子は、師匠の噺のストーリーではなくプロットを聞いていくのだろう。そうでなければ、桂文我さんのおっしゃる「噺の骨組」を体得することはできない。る「噺の骨組」を体得することはできない。られる。その結果、師匠から教わった噺も、られる。その結果、師匠から教わった噺も、られる。その結果、師匠から教わった噺も、カーとの対談でこんなふうにいったことがあり、

まやって全然判らない。それから今度は自い。骨だけ教わるというもんでね、幹だけね。あとの枝葉は、自分でつけて行くのですよ。ですから、昔の人で噺を教わっても、そのままやんないで、半年位はうっちゃっておいてから、今度その話を思い出すと、不当には覚えているけれども小骨は忘れば、詳しく教わっちゃ、本当はいけな

イクはなれて」、『放送文化』一九五七年七十つはなれて」、『放送文化』一九五七年七だから何ですわね、五人がやれば五人ともと本当に自分の芸になるというのですよ。分の力でそこへ肉をつけて行く、そうする

昔話にしろ神話にしろ、そして、落語にした、長くたっぷりと演じることも、短くさらって、長くたっぷりと演じることも、短くさらったがなこともできる。こんなふうだから、落とやることもできる。こんなふうだから、落

あ、「声の文化」の口承によるテクストは、 る可能性をいつももっている。ところが、新 る可能性をいつももっている。ところが、新 学習指導要領のいう「本や文章」は、固定的 なテクストである。昔話や神話や、そして落 なテクストである。昔話や神話や、そして落 なテクストである。昔話や神話や、そして落 なテクストである。古話や神話や、そして落 なテクストである。古話や神話や、ところが、新 かなテクストである。 古が、かつ読んでも同じ本文に固定されてしまう。 「本や文章」を使うにしても、ほんと うなら、作り変えられる可能性があるものだ とわかっておきたい。

小学校教諭の大木圭さんの実践「読み聞かせ優秀賞を受けたのは、千葉大学教育学部附属表されているのを読んだ。国語教育部門の最表されているのを読んだ。国語教育部門の最で、『読売新聞』紙上(二○○九年

る。そして、小学一年生という語り手が幼稚 自分なりに伝える」という見出しで、実践の内容が紹介されている。その一部を引く。
『小学1年の学級で数種類の「桃太郎」を読み聞かせ、それを自分なりの「桃太郎」をして幼稚園児に語り伝える活動に取り組として幼稚園児に語り伝える活動に取り組として幼稚園児に語り伝える活動に取り組として幼稚園児に語り伝える活動に取り組として幼稚園児に語り伝える活動に取り組として幼稚園児に語り伝える。そのおおらかさ、昔話らしさを体得した。』
子どもたちに「桃太郎」の複数のバリエー子どもたちに「桃太郎」の複数のバリエー子どもたちに「桃太郎」の複数のバリエー子どもたちに「桃太郎」の複数の「桃太郎」を開いている。

伝統的な言語文化」と音読

ちがいない。

性があらわれ、

生き生きした語りになったに

園児の聞き手に語る際にも、

テクストの可変

上げられている。

上げられている。

ま学習指導要領では、小学校3・4年に「易しい文語調の短歌や俳句」の音読や暗唱が、近しい文語調の短歌や俳句」の音読や暗唱が、

た。近世の木版印刷の時代になっても、印刷流布し、さらに木版印刷で広まるようになっともなうものになったあと、文学は、写本で文も音読されるものだった。日本語が文字を文化以前の文学の読書は、韻文だけなく散

だろう。このように、 読されるものになったことなどをにらんで、 結びつくものであったこと、 期(どんなに早くても明治二〇年代からあと) 教育制度が整うことによって識字率が上がっ が廉価でたくさん出回るようになり、 が大切なことになる。文章の内容に重点がお 音読した際のリズムや調子など文章の様式美 はないか。こうした集団的な読書の場では 聞くという読書が行われた。滝沢馬琴の なで楽しんだと思われる。その場合は、だれ ておく必要がある。 て、ひとりずつが本が読めるようになった時 かれるようになるのは、 犬伝』なども、 か文字の読める人が音読し、まわりでそれを たまたま手に入った本を、仲間や家族のみん ろう。江戸の人々は、貸本屋などをとおして、 できる部数はごく少なく、また高価だっただ 「伝統的な言語文化」 そんなふうに享受されたので の特質をよくつかまえ 古典文学は音読の声と 活版印刷によって本 近代の小説は黙 また、

右は、音読から黙読へという読書のスタイルの変化に注目した前田愛の意見(前田愛『近ルの変化に注目した前田愛の意見(前田愛『近代読者の成立』有精堂、一九七三年参照)などを踏まえて書いたのだが、さらに、いくつどを踏まえて書いたのだが、さらに、いくつができない。 が付け加えたいこともある。近代の文学でか付け加えたいこともある。近代の文学でかけ加えたいこともある。近代の文学であっても、計画を開始して、表記が、また。

音読と結びついていたこと、童話や児童文学は、学齢前の子どもも読者としてかかえこんでいるから、長く読み聞かせや音読の声と結びついていたこと、それでも、一九六○年前びかけでいるから、長く読み聞かせや音読の声と結を幼年から十代の前半の子どもたちへと引きを幼年から十代の前半の子どもだるとして知ることなどだ。

け加えておく。 一九九六年一二月など参照)。 読と黙読の階層性」、 房など)があったというのだ(山田俊治「音 でもらう姫君と、ひとりのときは黙読する女 する階層と黙読する階層(物語を女房に読ん 代においても、 への疑念を述べるのは、 歴史図式を単線的に成立させてしまうこと」 前田愛に対して、「音読から黙読へという 近代以前でも、 『立教大学日 山田俊治である。近 このことも付 音読を必要と 本文学

う。 新しい学習指動が展開されるとよいと思 文化」とは「声の文化」であるということを 文化」とは「声の文化」であるということを でん」とは「声の文化」であるということを が提に、読み聞かせを聞くことや、音読、暗 であるということを

主流は、音読から黙読へと変わった。それでものになった。近代以降、読書のスタイルのあるときから、日本語は、文字をともなう

ずの「声の文化」をもう一度確認することに 発達』 との対決をとおして子どもが形成してゆかな おいて、 とばである。「一次的ことば」に対する「二 とば」と呼ぶ。「一次的ことば」 Ŕ うことが、子どもたちの存在の根幹にあるは う学習の場で、 ての話しことばである(岡本夏木『ことばと の書きことばであり、「二次的ことば」とし ければならぬもの」、「二次的ことば」として 次的ことば」とは、「学校の学習という場に 生きている。岡本夏木は、これを「一次的こ ながればよいと願う。 学齢前の子どもたちは、「声の文化」 岩波新書、 おとなが意図的に強制してくるもの 「伝統的な言語文化」と出会 一九八五年)。 は、 小学校とい

不易流行論に立つ学習指導の可能性

大木 圭 千葉大学教育学部附属小学校

昔話を「知ったつもり」の児童

いる現代ならではの姿といっていい。「ちがう!」昔話絵本を読み聞かせると、決まって児童はこんな不平を言う。一年生に「桃まって児童はこんな不平を言う。一年生に「桃まって児童はこんな不平を言う。一年生に「桃まって児童はこんな不平を言う。一年生に「桃まって児童はこんな不平を言う。一年生に「桃まって見童はこんな不平を言う。一年生に「桃まっている現代ならではの姿といっていい。

どのように読み聞かせたらよいのだろうか。とのように読み聞かせたらよい「伝統的な言語文化」について、各学年で扱う教材だけでなく、それをどう指導するかまで示している。発表し合ったりすること」と書いては、ある。 せかし、実際には、どんな昔話を選定し、かし、実際には、どんな昔話を選定し、 はかし、実際には、どんな昔話を選定し、 とっように読み聞かせたらよいのだろうか。

二 「古典嫌い」の高校生

ちそうもない」「歴史的仮名遣いが読みにく のように親しませたらよいのだろうか。 めにも、どのような古文・漢文を選定し、 この実態を鑑みると、小学校の責任は大きい。 すい古文・漢文を音読すること」になったが、 い」「文法が難しい」等が挙げられている。 い。古典を嫌う理由としては、「将来役に立 う実態を踏まえて報告されていることが多 習の実践は、このいわゆる「古典嫌い」とい と答えた割合は全科目中、最下位であった。 高校時代を振り返って古典が「好きだった」 結果(注1)がある。これによると、残念ながら、 校時代の教科の好き嫌いに関するアンケート 今回の改訂により、高学年では「親しみや 昔話同様、 実際、中学校や高校で行われている古典学 四年制の大学に通う学生を対象にして、高 中学以降の古典学習の充実のた

一 芭蕉の「不易流行」に学ぶ

俳諧理念を示す語であり、右の懐古主義者らという言葉を持ち出す方がおられる。そして、たいてい「流行に目移りすることなく、不易にこそ目を向け、大切にせよ」と結ぶ。という言葉を持ち出す方がおられる。そして、という言葉を持ち出す方がおられる。そして、ところで、何かの変化・変革が起ころうとところで、何かの変化・変革が起ころうと

文化」の指導は、単なる懐古趣味ではない。 ながるのではないだろうか。「伝統的な言語 享受させていくことが、 め奉るのではなく、現代を生きる児童なりに 私たちが選定した教材を「不易」のものと崇 要が集約されているように思う。すなわち、 を求める不断の努力の中からこそ生まれ得る 諧の永遠の価値はマンネリズムを排し新しさ 指してなされなければならぬ、そして、逆に俳 ものではなく、つねに永遠の価値の実現を目 流行性こそ、俳諧の不易の本質(注2)」とある。 そのつねに新しみを求めて変化を重ねていく によれば、「俳諧は新しみをもって生命とする、 い。本当の意味は、もっと深い。『俳諧大辞典』 の主張に軽々に使われるような言葉ではな 俳諧理念を示す語であり、右の懐古主義者ら (注3)」という実践的意義をも示唆している。 ここには、「伝統的な言語文化」の指導の また、同時に、「流行は単なる変化にとどまる 真の継承・発展につ

兀 指導の実際―昔話・漢文の指導

①昔話の持つ大らかさに気づく姿 行った昔話に関する二つの実践の概要を示す。 親しむ児童の三つの姿を踏まえて、 では、 昔話の持つ特徴から想定した、 どんな指導が考えられるだろうか。 昔話に 年生で

よって、様々な再話がなされてきた。同じ昔話「桃 る。こうした広がりを昔話の大らかさとして捉えさ 「つんぶくかんぶくつっこんこ」と流れてくる桃もあ 太郎」でも、「どんぶらこ」と流れてくる桃もあれば、 口承文芸であるが故に、時代や語り手に

②「昔話らしさ」に気づき、 活用する姿

絵が描けるように、「いつ」「どこで」「誰が」「どう さんとおばあさんがいました」など、聞き手の頭に した」という情報が、初めに一気に語られる話である。 目で読む文学作品とは違った特徴を踏まえ、 昔話は、たとえば、「むかし、 あるところにおじい 再話さ

③様々な昔話を知り、 それを伝え合う姿

ど様々である。こうした昔話に年間を通じて触れさ 恩譚であっても、 のように報恩譚と呼ばれる話もある。また、同じ報 郎」のように勧善懲悪型の話もあれば、 口に昔話といっても、 婚姻譚や致富譚に展開するものな 様々な種類がある。「桃太 「鶴の恩返し」

> あった。 話を語り継ごうとする伝え手としての姿で の内容に合う言葉を吟味し合ったりする姿 した桃太郎話を幼稚園児に語り聞かせたり、 児童が昔話絵本を読み比べ、 たづくりをするという実践(二月)を行った。 を読み聞かせることから始めた実践 「昔話かるた」の読み札をつくるために昔話 これを踏まえ、六種類の昔話絵本「桃太郎 受け身ではなく、一年生なりの言葉で昔 百余話の昔話を読み聞かせてから、 自分なりに再話 (七月) かる

等に取り組ませた実践の概要を示す。 次の姿を想定し、五年生で漢詩の訳詩づくり 昔話の実践と同様、漢文に親しむ児童として、 [漢文に親しむ児童の姿] では、 漢文の指導は、 どうしたらよい ―目指す児童像 か

③漢字の意味等を手がかりに、内容を自分なりに想 ②白文を書き下したり、音読したりする姿 ①白文を自分の知っている漢字などから、 れているかを読もうとする態度 像する姿 何が書か

時間の授業の流れと様子〕 —三時間 扱

①漢詩(白文)に出合い、感想の交流

④訳詩を踏まえ、 ③それぞれが訳詩等をつくり、 ②段階的に文字を消しながら音読(暗唱へ) ※原則として、 「江南春」→ 再度音読 毎時間の学習過程は同じ 「春夜」→ 「春暁 交流

段階的に文字を消しながら音読させた板書



あくまでもそれが目 しまう児童も現れるが、 ではない。 暗 唱して

児童 一のつくった訳詩等

江南春 きりにまざってきれいに見えたやぐらという遠くを見る建物から 川と山に囲まれた 緑の若葉に赤い花のい森に鶯啼いた 自然あふれる村々は

が、 いくのか、それを支える指導のあり方の摸索 と古典教材がどのような化学変化を起こして 不易流行論の本質である。 デ 、イアが発達する現代を生きる子ども達

注

1

- 関する振返り調査— 平成十七年度経済産業省委託調査 大学生を対象として」 「進路 5選択に
- 『俳諧大辞典』 (明治書院、 一九五七年、 p.672)
- 同書 (p.673)

3

平成二十二年二月四・五日の公開研究会で、 言語文化の指導に関する提案をさせていただきます。 きよし 千葉大学教育学部附属小学校教諭 伝統的な

、学国語

はいくにチャレンジ! 〜生き生きと表現し、ともに学び合う児童の育成〜 句

愛媛県松山市立久米小学校 高須賀

はじめに

もに学び合う児童の育成を目指し、研究を重 により、 はぐくむ授業を創造する取組を推進すること ねている。 本校では、国語科を中心に、伝え合う力を 自分の思いを生き生きと表現し、と

の実践を例に紹介したい。 簡単で楽しく、実り多い俳句の取組を一年生 かに伝え合う力を育てる方策の一つとして、 言葉とかかわり、言葉を通して表現し、曹

二 「はいくにチャレンジ!」

とと、句作や鑑賞を通して言葉や季節への感 とをねらいとして、 覚や感受性を高め、言葉の豊かさを楽しむこ た二学期から実施した。 五・七・五のリズムに慣れ、俳句に親しむこ ひらがなもしっかり覚え

〈初めの指導〉

年生への俳句指導のため、 五・七・五の

> ー・リ・ッ・プ」や「シャ・ー・ベ・ッ・ト 導した。音数の数え方についても「チュ・ で確認した。 を一つ入れること、「うれしいな」「たのし 十七音で作ること、季節を表す言葉(季語 いな」の言葉を使わないことを、始めに指

〈句会ライブ〉

気持ちに近い俳句が生まれることに驚き 他の季語と入れ替えるだけで、より自分の イブでぐっと気持ちが盛り上がる。季語を いて学び、鑑賞の楽しさを知って、このラ イブを実施している。「取り合わせ」につ 例年、講師の先生を招いて全校で句会ラ

になっ 見られ 工夫が た。 るよう なりに 一年生 俳句を作ってみましょう。 的 東② 三・七・三の十 七 音で作りましょう。 のマヤ・ 1: しゃ 1: いきっしゅう マイ・ 1: しゃ 1: いきっしゅう アイ・ 1: しゃ 1: いきっしゅう アイ・ 1: しき 00000名前 かき水 せんらうき からい数トマト 展: 〈導入時のワークシート〉

ŋ,

秋深き隣は何をする人ぞ

わ

った 市内

> 夏草やつわものどもが夢の跡 五月雨をあつめて早し最上川

しずかさや岩にしみ入るせみの声

松尾芭蕉 松尾芭蕉

松尾芭蕉

松尾芭蕉 松尾芭蕉

碑につ

目には青葉山ほととぎす初かつお

山口素堂 松尾芭蕉

に立つ旬

旅に病んで夢は枯れ野をかけめぐる 松尾芭蕉

合ったり 7

> 柿くえば鐘が鳴るなり法隆寺 赤とんぼ筑波に雲なかりけり 夏嵐机上の白紙飛び尽くす あらうみや佐渡に横たう天の川 初しぐれ猿も小のみをほしげなり

(覚えておきたい俳句)

松山市と 俳句を味 規さん 俳句も紹 おきたい の深い子 かかわり し詠み、 て繰り返 声に出し 介した。 が覚えて 小学生 0) 菜の花や月は東に日は西に うまそうな雪がふうわりふわりかな 小林一茶 やれ打つなはえが手をすり足をする 小林一茶 やせ蛙まけるな一茶これにあり 我と来て遊べや親のないすずめ 雪とけて村いっぱいの子どもかな 春の海ひねもすのたりのたりかな 戸に犬の寝がえる音や冬ごもり ぼたん散って打ち重なりぬ二三ぺん 与謝蕪村 夏かわを越すうれしさよ手にぞうり 与謝蕪村 覚えておきたい俳句① 古池やかわずとびこむ水の音 山路来て何やらゆかしすみれ草 万緑の中やあ子の歯生え初むる 校塔に鳩多き日や卒業す 赤い椿白い椿と落ちにけり 梅一輪一輪ほどの暖かさ 大根(だいこ)引き大根で道を教えけり 雀の子そこのけそこのけおん馬が通る 中村草田男 中村草田男 河東碧梧桐 小 小 小 与 林 林 林 一 一 蕪 茶 茶 村 松尾芭蕉 与謝蕪村 松尾芭蕉 服部嵐雪 小林一茶

〈名句の紹介〉

した。「のたりのたり」の擬態語を喜んだり、 一歩上達。 「や」や「けり」の切れ字を知って、また

〈投句用紙〉

らせ、句集の表紙も作って意欲化を図った。 末には、綴って自分の句集となることを知 のイラストを添え、季節感を出した。学年 く適当であった。季語を少し載せて、季節 用紙はA4の縦半分の大きさが書きやす



(句作と鑑賞)

とも一緒に作った。 句作したりした。家にも持ち帰り、 国語科の時間を活用したり、休み時間に 家の人

くれた友達にお礼を言ったりするほほえま 句作に一層意欲的に取り組んだり、選んで 選んだ。友達に選ばれる嬉しさから、次の 句か分からないようにして「今月の句」を しい姿も見られた。 集まった句は、ミニ句会を開き、だれの

〈選句〉

入選句を決定し「俳句賞」とした。 選句に当たっては、 一年生百五十名の中から、 毎月五名程度

- 季語は原則として一つ。
- 生活感のある子どもらしい句を選ぶ。 言葉の響きやリズム、表現のよさを重

視する。

0 級もある。 もある。 レベルを維持するため、 同じ児童の句が選ばれること 選ばれない学

の四点に留意した。

入選句(俳句賞)

さむいあさフーフーあったかママの口 からっぽのゆうびんポストふゆのかぜ ひがんばなよりみちをしてみつけたよ コスモスのみちをあるいてじいちゃんち かけっこでいっしょにはしったあきのか

(俳句の紹介)

俳句賞については給食時の校内放送で紹

る。 て待ち、放送さ 手が起こる。楽 れると大きな拍 るかどきどきし の句が放送され 介した。毎月ど しみな時間であ はいくしょう

者にも紹介し も掲載して保護 学年だよりに あなたは、すばらしいはいくを ょうをおくります。 久米小1年部

〈ミニ賞状〉

行って見せてほめてもらうなど、家族も巻 た。祖父母に俳句賞の小さな賞状を持って き込んだ活動の広がりが見られた。

〈考察〉

た。 だりする様子もうかがえ「俳都松山、 母の方々がアドバイスしたり、ともに喜ん 句に親しむ様子が見られるようになった。 せ、子規さん!」の盛り上がりが感じられ 慣れ、指を折っては考え、 季語を覚え、俳 を、とても楽しみにしている。 につれて、少しずつ五・七・五のリズムにも 保護者だけでなく、人生経験豊かな祖父 児童は毎月の「はいくにチャレンジ!」 回を重ねる めざ

Ξ おわりに

として確かな手応えを感じている。 月に一回の実践であるが、表現方法の一つ

ることは、すてきだと思う。 句にし、思いを共有したり伝え合ったりでき を、たとえ上手でなくても、自分の言葉で俳 感じたことや発見したこと、体験したこと

深めていきたい。 今後も実践を継続し、言葉へのかかわりを

る。俳句も楽しんで実践中 子どもたちと学び合って楽しく実践したいと思ってい たかすか ともこ 愛媛県松山市立久米小学校教諭。

、学国語

子どもの学ぶ力を育てるために 文学作品における書き込みの内容と方法―

大阪樟蔭女子大学

はじめに

ている教師自身もそのしんどさを感じてい なっていることが多い場合である。授業をし りに終始していて、一問一答式の指導形態に ある。それは、授業が教師と子どものやりと が多い。そんな中で、今日の授業は、見てい て、改善策を模索していることが多い。 てしんどい・重たい授業だなと感じることが 最近、小学校の校内研究会に招かれる機会

うテーマで授業改善に取り組んでいた。授業 ことは、次のようなことである。 を見た後の研究協議で、私が指導助言をした 作品で、読む力を高める指導法の研究」とい 先日訪問した学校も、学校全体で、「文学

展開にならないで、子ども自身が相互に意見 交流をしながら、読み進めていくことになる になれば、教師と子どもの一問一答式の学習 文学作品の読み取り方が身に付いているよう どの学年においても、子ども一人一人に、

> できるようになる。 え方で読み取りにおける「書き込み」指導が また、だれがどの学年を持っても一貫した考 おけば、すべての教師が系統的に指導でき モデルを、低・中・高学年別にプリントして についても、学校としてその「書き込み」の くようにすればいい。次に述べる「書き込み」 そのやり方を共通理解をし、共通実践してい 学年のはじめに徹底して指導し、どの学年も していくことが大切である。学び方の学習を 方をしっかり子どもに教えたり気付かせたり そのためには、まずは学校全体で、 読み取り

書き込みについて

に全体で話し合いをするという学習展開を意 み取り、その後、一人一人の読み取りをもと ども一人一人がまず自力で想像的に文章を読 子どもたちにさせることがある。それは、子 て、意見交流をする前に、文章の書き込みを 文学作品の授業でよく行われる方法とし

> 方法や内容を指導してはどうだろう。 き込みをしたものを見てみると、大事なとこ 図してのことであると思われる。私自身も、 ども一人一人に、次のようにして書き込みの いないことが大きな要因である。そこで、子 んでいけばよいか、そのことを十分理解して ものが多い。どの箇所にどんなことを書き込 の想像力が十分発揮されていなかったりする ろに書き込みがされていなかったり、子ども ている。しかし、実際の授業で、子どもの書 立していくうえで大事な学習であるととらえ 書き込みについては子どもが自分の読みを確 書き込む箇所(『大造じいさんとがん』

を例にして)

○文末の言葉

それらの言葉に書き込みを入れる。 動詞や形容動詞、 ることが多い。文末の言葉は、品詞で言えば、 や心情が描かれ、それらの変化が描かれてい 文学作品は、文末の言葉に登場人物の行動 副詞などの用言が多いが

○登場人物の心情をよく表している言葉(例)「いまいましく思っていました。」

○青景描字で、登易人勿ひい青が思象で(例)「むねをわくわくさせながら」

○情景描写で、登場人物の心情が想像できる

使われていない言葉。○文末表現のうち、文章全体でみればあまり

○心情がよく分かる会話文 (例)「(じゅうを下ろして) しまいました_

(例)「ううむ!」「ううん」

○会話文の後の、話し手の様子や心情が分か

上げながら、にっこりとしました。」(例)「大造じいさんは、青くすんだ空を見

(例)「今年も」「その翌年も」「今年もまた」○時間の経過がわかる言葉

2 書き込む内容

○想像したこと

みる。 が多い。そこで、次のような視点で書かせてと言っても、何を書いていいか分からない者と言っても、何を書いていいか分からない者

を考えたこと。

・登場人物の言動に、驚いたこと・感心した・登場人物に言いたい・教えてあげたいこと。

どの自分の気持ち。と・びっくりしたこと・嬉しくなったことなこと・悲しくなったこと・おかしかったこ

○文章表現のよさについて考えたこと

を変えたりして、使われている言葉のよさを変えたりして、使われている言葉のよさ

の作文に使ってみたいと考えたこと。ンパクトがある、印象に残る言葉だ、自分・ここで使われているこの言葉が好きだ、イ

考えたこと。

○自分の考えや生活との比較

うところなどについて考えたこと。・自分の生活と比べて、似ているところ、違

○解釈や評価等

ことなどを書き込む。 をぶりについて、解釈したり評価したりした 使用されている言葉や文、話の展開等の書

・作品に使われている言葉の適否を考え、こ者の書いた意図や理由を考えたこと。

たところや異なるところを考えたこと。の書きぶりについて、作者の他の作品で似の場面にふさわしい言葉や文、話の展開等の場面にふさわしい言葉を考えたこと。

なりの結末を考えたこと。物語の終わり方について不満があり、自分

・このお話のつづきを考えたこと。

一 おわりに

紙面の都合で、書き込み用紙について十分言及芸なかった。特に、書き込み用紙についてお分と全体をつなげた読み取りをしていく必部分と全体をつなげた読み取りをしていく必おうと全体をつながある。文章の読み取りは、

文学作品の授業は、話し合いが中心になっているところが多いが、子ども一人一人がることで、話し合いが深まってくる。そのためには、自分の考えを作り上げていく「書きめには、自分の考えを作り上げない。でからした自分の考えをおっている。そのたることで、話し合いが中心になっと学作品の授業は、話し合いが中心になっされていくのである。

に、主に国語科教育法を指導している。 在、大阪樟蔭女子大学で、小学校の教員を目指す学生やまもと みつお 前奈良県国語教育研究会会長。現

実践 交流 小学国語 一全学年

自分の考えを表現できる子どもたち

〈書くことを中心に〉

書き続ける大切さ

ろうと思っている。

と多いことか。
と多いことか。
と多いことか。

分を作ることにつながる。書くことは、思考力の発達と共に、確かな自と、授業では書くことを多く取り入れている。少しでも書くことを好きになってほしい

書き続けるという目標で取り組む最も良いく技術を身につけること」である。のだろう。それは、「書き続けること」と「書では、書くことにとって大切なことは何な

て、子どもたちは、きっと良い文章を書くだちが継続できるという点である。継続させたちが継続できるという点である。継続させたちが継続できるという点である。継続させたちが継続できるという点である。継続させたちが継続できるという点である。

しかし、何回直しても同じ誤りを続け、そのうち書かなくなってしまう。 これでは、指導にならない。大切なことは継続である。そのためには、一行しか書いてこないと思わず、一行も書けたと発想を変えることである。そして、その一行の中の言葉をほめてあげることである。そのたとにより、

書き続けることは、書き慣れることにつながる。この書き慣れるは、表現の基本と考えて良い。この書き慣れるがなければ、表現の方法良い。この書き慣れるがなければ、表現の方法自分で見つけることができるようになるのである。

切さを物語っていないだろうか。に二枚も書いてきた。これは、書き慣れる大にとって特別の出来事があった日、日記用紙

神奈川県小田原市立大窪小学校二十宮。龍七

のような報告を耳にしたことがある。の集中力と会話にもその良さが出てくる。次の

Aというクラスは、日々日記をつけるようにした。Bは、週に一度日記の宿題を出した。 らいいのか考えるようになり、集中力が身に にした。Bは、週に一度日記の宿題を出した。 というクラスは、日々日記をつけるよう

く聞かれるようになった。日はこれを日記に書こう。」という会話が多子どもたちの言葉の中にも、「そうだ、今

あるのだろうか。では、書き続けるようになるための方法は、

日記どうだった。」と。その折、すぐに答えは、○だけでも十分である。しかし、子どもは、○だけでも十分である。しかし、子どもがることが大切である。時間がないときなどがることが大切である。時間がないときなど

られないと子どもたちは落胆し、先生は○だけつけて読んでくれていないと思ってしまう。 そこで、日記は、子どもたちが見ていると ころで読むのが大切となる。授業中は無理で あり、休み時間は教室から子どもがいなくな る。どの時間帯がいいかというと、最も良い 時間は、給食の前後である。五分~十分で全 員の日記を読む。この時間なら全員教室にい る。教師は、この短時間で読む訓練をするこ とが大切である。

あげるのである。
ている子の日記、二~三人を読んで紹介して記で、内容が良かった子、技術がしっかりし

返すのが鉄則である。 その日の日記は、その日のうちに子どもに

一 ノート指導

ノートで重要なことは、メモを取ることと自分の考えを書かせることである。自分の考えを持たせること。もう一つは、最自分の考えを持たせることである。

板書されたことを写すのではなく、自分で箇条書きにして、ノートに記すことである。メモとは、他の子どもたちが話した内容も

なされなければならない。書は、子どもたちに考える場を与えるように考える場としてノートは必要なのである。板

学習で、子どもが考えた最後の文章である。
次のノートは、「大造じいさんとガン」の

自分の中で変わったこと「大造じいさんとガン」を読んで

今まで私は、人間の側からだけしか、かう。 間の生き方を教えてくれている物語だと思問の生き方を教えてくれている物語だと思この物語は、残雪という鳥を通して、人

(R・T) ウまで私は、人間の側からだけしか、かりをすることを見てこなかったが、相手の立場をから見ることの大切さに気づかされた。また、鳥が人間に本当の生き方を教えてくれることもあるのだと思った。 以前学習した「金子みすゞ」の見方というものを、もう一度思い出させてくれた。

すことができる。

書くことによって、より確かな自分を作り出

物語を学習したあと、自分の中での変化を

一 表現の技術を学ぶ

とを考えよう。 例えば〈物語を作る〉という単元で書くこ

か、中心人物と対人物の関係をどうするのか、物語構造としては、登場人物を誰にするの

人称は一人称か三人称か、事件(山場)をどのように設定したら良いか、この物語を通して、誰に何を伝えたいのか、自然描写や行動
描写はどう描いたら良いのか。等々が考えら
れる。発達段階等によっても異なるが、いわ
ゆる構成を考えることが大切になってくる。
このような技術を教えないと、荒唐無稽な
作品となってしまう。日記と違って、ここで
は、確実に指導しなければならない。

子どもたちが毎日使っている自転車や料理ればならない。 はならない。 は、数科書の構成はま

構成としては、帰納法や演繹法についてそことが大切になってくる。

四 おわりに

の使い方などを指導する。

系統的に指導する必要がある。うしたら表現力のつく子になるのかについてうしたら表現力のつく子になるのかについてき慣れることは、考え方をはっきり分け、どせること、つまり、技術を会得することと書表現の技術を指導することと、日記を書か

詩人。 業ベーシック研究会常任理事。国語の授業編集委員。 にのみや たつや 全国国語授業研究会常任理事。授

実践 交流 小学国語 一高学年

「伝記を読み生き方を考える」から教科書で学び方、個別教材で活用

栃木県佐野市立三好小学校 渋江 隆夫

学び方から活用へ

児童自身が、自分の読みを振り返り互いに交流することで、身に付けた読みの力を生か交流することで、身に付けた読みの力を生かられるようにしたい。新学習指導要領の解められるようにしたい。新学習指導要領の解められるようにしたい。新学習指導要領の解められるようにしたい。新学習指導要領の解められる。同じ意見だったら、同意を示す…。そういった活動があって、お互いの考えを深められるのではないだろうか。

る」の指導 ち年「伝記を読み生き方を考え

(一) 単元の目標

読み比べようとしている。・人物の生き方に興味を持ち、様々な伝記を

(国語に対する関心・意欲・態度)

- ・人物の生き方に対しての思いを自分の言葉・人物の生き方に対しての思いを自分の言葉
- ・伝記に書かれた人物の生き方と考え方を読をまとめて紹介する。 (書くこと)

(二) 単元について

み取り交流する。

(読むこと)

生き方に触れたりできる。伝記から読み取っで、不十分な読みに気付いたり、別の人物のる。読み取ったことをお互いに語り合うことはたことを別の人物の伝記で実際に活用すここでは、伝記の読み方を学習し、身に付

た人物の生き方に対して自分の考えを明確に することを通して、自分の生き方を考えることにもつながっていくと期待できる。 この単元は、新学習指導要領、第5学年及び第6学年「読むこと」の言語活動例「ア 伝記を読み、自分の生き方について考えること」話すこと・聞くこと」の言語活動例「 する言語活動」をうけて設定している。

(三) 授業の実際

第四次 マザー・テレサのまとめを語り合る、教材文の全体像把握。〈対話による交流〉のどこからどう感じとったか、テレサの言動のどこからどう感じとったか、テレサの言動と自分の思いを短い言葉で表現する。

キャッチコピーをつけてみました…。」 a 「『貧しい人たちを愛し続けた人』という

う。(自分の思い、テレサの言動、

キャッチ

サ』と書いて 界を変えた、 がんばりで世 た。『勇気と 内容にしまし をどう思って 筆者がテレサ みました。」 マザー・テレ いたかという

本学校書を訪れる いますがしていたか を持つれませていた。 中国成立していたが を持つれませって、 中国成立していたが を持つれませって、 中国成立していたが を対していたが、 のにのでしていた。 一世には、 かかからのにでいいました。 を対していたがある。 でいました。 でいまた。 でいまた。 ・ でいまた。 ・ でいまた。 ・ でいまた。 でいまた。 ・ でいまた。 ・ でいまた。 ・ をいまた。 ・ ・ をいまた。 ・ ・ をいまた。 ・ ・ をいまた。 ・ をいまた。 ・ をいまた。 ・ をいまた。

ました。aさんbさんの二人の書いたことを 第六次 自力読みのプリントをもとに自分が 合わせたようになった気がします。_ をささげ、勇気のある人、尊敬する』と書き c「わたしは、 **|貧しい人たちのために全て**

選んだ伝記に

る個人学習 ついてまとめ

本の不自由が人性をある。 はよりを整備したシュー 日とよかではまます。 日とよかではまます。 かんままではまます。 かんままではまます。 がないてない。 ままれた実施がいちっとから もかったまます。 もかったまます。 もかったまます。 では、ままないでもいます。 ままれた。 をかったます。 では、これでは、これでは、ままないでは、 でかったまます。 でいったない。 でいない。 でいない。 でいない。 でい。 でいない。 でいない。 でいない。 でいない。 でいない。 でいない。 でいない。 でいない。 でいない。 生かいとうとうとう 九〇四年 ラドクリフ女 八二年 高、熱が出てて、時に目と耳が不自由にない 三年 第回首人 もずてもうしまの様がです。 200年 ラトクリクかましいちゃっていません。 ままのと、味を知ってる配かは何信もするにいる味のといいました。 年アメリカで しくちょうく 三百苦木 日本人の時間を 〈自力読みでまとめた例〉

〈推薦ポスターの例〉

2 全文を読む。

生涯をまとめる。

*一冊の本は長いので、生き方に関係する主 ・いつ・どんなこと・どんな考えで なものを十前後書いておく。

生き方の転機となった出来事を書く。

3

4 心に残る言葉を書く。

5 すいせん文を書く。

6

チコピーを書く。 人物のすばらしさを表す短い言葉、 キャッ

テレサと比べて、似ているところや違いの 大きいところを書く。

7

・テレサと、自分で読んだ伝記とをまとめて *どちらか片方になる場合もある。 伝記を読む学習のまとめを書く。

8

自分の生き方と比べて考えたこと 自分の生き方に影響を与える内容

・これからの自分の生き方など。

ノートにそれぞれの内容を書いてから

; ;

ろ… 最初から一枚の紙に書いていく。 枚の紙にまとめる。

紙に書いて、

切り取り、

一枚の紙に場所

を考えて貼り付ける。

伝記を自分の力で読もう マザー・テレサをまとめたことを思い出

「ぼくは、

付せん紙を貼るなど、分かるようにしておく。 たいところがあったら、すぐにノートに書くか、 同じように学習を自分の力で進めてみよう。 読みながら大切なところ、後でまとめに書き

手伝いなどしていこうと…」

き続けた人…これからは自分ができること、 d「ナイチンゲールもテレサも人のために働 第七次 まとめの語り合

三まとめ

も挑戦しよう。」

思って…。これからは恥ずかしがらず、何で ンは、周りの人まで笑顔になってほしいと ているところを言った。自分が読んだエジソ e「dさんは、テレサとナイチンゲールの似

語るため、まとめるために、正しく読み取 なってきた。 ることの必要性に児童が気付き、身に付け た学び方で何度も文章を読み返すように

読み取ったことを一枚にまとめることをや 習を進め活用する力をつけていた。 りやすいと感じた児童も多く、 自主的に学

よりよい語り合いのために、学習内容に思 い入れができるような単元設定を考えてい

しぶえ 日々。 に反応・挑戦・笑顔の大切さを語り続け、実践する たかお 国語力をどうつけるか、子どもたち

小学国語 中学会

~まるごと味わう国語辞典から学習を始めよう~ 国語辞典との出会いを楽しいものに!

千葉市立大森小学校 山 村

はじめに

思いや願いを満たしてくれる国語辞典。いつ たくさんの言葉で考える子になってほしいと も身近に置いて、たくさんの言葉と出会い 知りたいな、調べたいなという子どもたちの いう願いのもと、この単元を設定した。 豊かな言葉から、豊かな感性も育まれる。

単元名と学習指導計画

1 単元名

国語じてんのひみつを見つけて ~国語じてんを使ってゲーム大会を開こう~ 使い方やじてんの引き方を知ろう。

2 単元の目標

- ●国語辞典のひみつを調べ、国語辞典に親 しみをもつ。 (関心・意欲
- ●国語辞典の活用の仕方や引き方を知り 活用する。 (言語事項

3 学習指導計画

一次国語辞典のよさをまるごと味わう。

(2時間

学習の実際

○国語辞典を使った学習へのめあてをも 目的意識と自分の学習課題をもつ。

○学習計画を立てる。

○見つけたひみつを発表し合い、国語辞典 ○国語辞典のひみつを見つける。

|第二次||国語辞典の引き方を知る。 は、どんなとき役に立つのかをまとめる。 (2時間

○見つけた国語辞典のひみつをもとに、 き方について話し合う。 引

めあて

- 早く言葉を探すための工夫
- ・形の変わる言葉の引き方
- ○見つけた引き方を使って、実際に国語辞 ・いくつかの意味からどの意味を選ぶか

典を引いてみる。

|第三次||国語辞典を使ってゲーム大会を開き、 学習を振り返る 1時間

* 「ゲーム大会」を行うための具体的な話し

総時数5時間

合いと、準備をする。

的に学習を進めることができた。 習計画を立てたことで、見通しをもって意欲 まず初めに、めあてとゴールを話し合い学

第一次めあてとゴールを確認する。

とに、めあてとゴールを決めた。) 考えさせた。(子どもたちの思いや願いをも もらい、この辞典でどんな学習をしたいのか 一人ひとりに、自分の国語辞典を用意して

ゴール ・国語じてんのひみつを見つけて、使い方や 国語じてんを使ったゲーム大会を開こう。 引き方を知り、じてんを引いてみよう。

第一次学習計画を立てる。

学習していったらよいか」という問いかけを して話し合わせ、教師の支援で計画を立てた。 めあてとゴールをもとに、「どんな順序で

第一次国語じてんのひみつを見つける。

たところから自由に発見させた。 辞書を手にして、児童が興味・関心をもっ

第一次ひみつを発表し合い、使い方を考える。 児童が見つけた国語辞書のひみつを発表さ

・言葉とその意味がたくさんのっている。 ・同じ読み方の言葉でも、意味がちがう。

板書した。左のような意見が出た。

せ、

- ・言葉の短文の例や反対語がのっている。
- ・平仮名の言葉の下に、漢字で書いた言葉が 一つの言葉でもいろいろな意味がある。
- 刷してある。 あって、辞典を閉じた所に、五十音順が印
- 言葉は、あいうえお順でのっている。
- 色の名前、漢字の書き順ものっている。
- 有名人の名前、百人一首がのっている。
- もの知りコラムがあった。
- 物の数え方、十二支などがのっている。
- 東京式アクセントや、カタカナで書く言葉 日本の周りの海流ものっていた。
- ・池に住む動物や世界地図もあった。
- と「付録」の内容に整理して書いておき 国語辞典のひみつは、これ以外にも黒板 「せいそう」という言葉が四つある。等 国語辞典の魅力に気付かせることができ いっぱいに発表された。板書の際、「ことば

た。また、

国語辞典はどんなときに使える

かについても、この板書を使って考えさせ

▼国語辞典にはコラムや付録もあり、 使えると、子どもたちは驚き喜んでいた。 べだけでなく、もの知りミニ百科事典にも 言葉調

第二次ひみつをもとに、言葉を早く探すため の引き方の工夫を見つける。

しく調べさせた。 前時で見つけたひみつをもとに、さらに詳

点が習得できるよう、指導した。 早く言葉を探すための工夫として、次の三

- ①言葉の並び方の約束を使った引き方
- ・じてんを閉じた所の五十音順の文字を見 ると早い。 て、じてんを開く。次は、横の文字を見
- 言葉の並び方が、一番目も、二番目も、 その後も五十音順に並んでいる。
- ・清音、 拗音、促音の順に並んでいる。等 カタカナ、濁音、半濁音、 長音、
- ②形の変わる言葉の引き方 で調べる。形の変わる言葉は、 「ねた・ねない・ねれば」の場合は、「ねる」

「言い切り」

の形で調べる。

③いくつかの意味からの選び方 にあった意味を選ぶ。 言葉が書かれていた文章にもどって、文章 同じ漢字を見つけ、どの意味か迷ったら、

> ◆①の「言葉の並び方の約束」に着目して調 を教師から提示し、課題に気づかせてから 確認した。 べる児童が多く、②と③については、言葉

第三次ゲーム大会を開く。

- ・十問早引きゲーム
- 言葉の並び順当てゲーム
- ・同音異義語探しゲーム

第三次学習のまとめと振り返りをする

という問いかけで振り返りをノートに書かせ 「めあてにそって振り返りをしましょう。」

四 おわりに

さらに国語辞典を使いたくてたまらない気持 は、 付箋紙がついて満足げである。 なせなかった子も、今では辞書にたくさんの ちにさせることができた。思うように使いこ 国語辞典のひみつ探しから始まった学習 全員の興味・関心を最後まで持続でき、

きる子の育成を目指し実践中 感動し、言葉で伝え合い、自分の思いを文章に表現で **やまむら みえこ** 国語大好きな子を増やし、言葉で

実践交流中学師

教育活動 |尊感情を高める「ことば」を大切にした 一夫と実践

東京都港区立三田中学校 佐藤 文

1 はじめに

も顕在化している。
も顕在化している。
も顕在化している。
はかし、対人関係に起因する多くの課題
が選択希望制が公立中学校では拡大してい
を選択希望制が公立中学校では拡大してい

本校の新入生の出身小学校を分析すると、本校の新入生の出身小学校を分析すると、1005年で7校程度であったものが20校近いたら、6人班全員が違う小学校であることも珍しくなくなった。今までなら「言わなくても分かってくれた。」という思いが、なくても分かってくれた。」という思いが、なくても分かってくれた。」という思いが、なくても分かってくれた。」という思いが、なくても分かってくれた。」という思いが、なくても分かってくれた。」という思いが、なくである。の世の数パーセントは、「ことば」以前に「避の中の数パーセントは、「ことば」以前に「避かけられている」だとか「じっと見られている」だとか「じっと見られている」が、いると、

ること」が前提である。以下に取組例を示す。とは割愛していく。対人関係を円滑にするために必要な能力は、コミュニケーション能力を国や人間関係育成能力等である。この能力を国とは割愛していく。対人関係を円滑にするたとば」を中心に考えていくので、これらのことば」を中心に考えていくので、これらのこ

2 ガイダンス機能の充実

施の教科(数学・理科・英語)は実施前に必にの教科(数学・理科・英語)は実施前に必に実施している。また、学習の評価項目を明確にしたである。また、学習の評価項目を明確にしたである。また、学習の評価項目を明確にしたである。また、学習の評価項目を明確にしたである。また、学習の評価項目を明確にしたである。また、学習の評価項目を明確にした。予習・復習の仕方など、学習シラバス的に実施している。これには、家庭学習のやりに実施している。これには、家庭学習のやりに実施している。また、少人数指導実な役割も果たしている。また、少人数指導をな役割も果たしている。また、少人数指導をおいる。

位置付ける第一歩であろう。が、言語活動をカリキュラムマネジメントにとば」でその必要性や意義を明確に示すこととば」でその必要性や意義を明確に示すことであるようにしている。このように、「こずガイダンスを実施し、少人数で学ぶ意義を

国語教室からの発信

3

国語教室はまさに、コミュニケーション能力や人間関係能力の育成の場である。どんな力や人間関係能力の育成の場である。どんな力を人間関係能力の育成の場である。どんな相互信頼を深め合う」前提がなければ成立しないからだ。それでは、教師はどんな点に気ないからだ。それでは、教師はどんな点に気を高める指導をしたらよいのかについて、実を高める指導をしたらよいのかについて、実象の事例を挙げていく。(9月号掲載なので象の事例を挙げていく。(9月号掲載なので2学期からの想定とする。)

① 2学期全体の学習計画を生徒に示す。こ

の活用)

「大田で表記する。(=ガイダンス機能学習の大目標を示す。教科書の単元に公って月ごと中期目標を示す。単元テストなど、学習の区切り目になるような「学習の振り返り」にはフォントを大きくする、飾りをつけるなど、ントを大きくする、飾りをつけるなど、のが、の学期で、どんな力を付けていくのか、の学期で、どんな力を付けていくのか、の学期で、どんな力を付けていくのか、の学期で、どんな力を付けていくのか、の

※定期考査、単元テストや漢字テスト等は 「もっと頑張ればできるでしょ」といっ 分からない、そもそも、何をしたらいい だ、ということを理解させる。「国語が 更なるバージョンアップのためのもの 生徒自身の到達度の指標であり、 共通していることではないだろうか。 い。「苦手」科目の、どの教科についても た他者から「自分の頑張りを評価されて か分からない。」といった自己不全感や た「改善」に力点が置かれるものであり、 が、そもそも「評価」とは、それを受け 伝える。それは評価評定の基準とはなる 教室の最初のガイダンスで明確に生徒に いない。」不満感を抱いている生徒が多 「ものさし」であることは1学期の国語 い。」という生徒はどこかで「できない 定着の

② 班学習のグルーピングは、生活班で構成

よ。」と、その度に私も必ず答えた。 方がみんなを伸ばしてくれるからい 私自身何度も聞かれた。「あなたのやり 何より「○○さんのやり方のうまさ」に たのか。」と気付くこともあるだろうし、 生徒自身は「自分にはそんな一面もあっ ンに据えることが前提である。ここに、 なく「仕方が上手い」生徒をキーパーソ ね。」というように、「国語が得意」では の仕方のコツを伝えるのが上手いから らね。」とか「○○さんは、 みんなの意見を出させる仕方が上手いか うように説明する。例えば、「○○さんは、 の時はその理由を生徒がなるほど、と思 がる場合がある。意図的なグルーピング 意図的にグルーピングした方が効果が上 していいものと、キーパーソンを決め ついて他者認知が広がるところである。 「先生、ほんとに僕(私)でいいの?」と、 動詞の活用

のメッセージ(注文)を書いて下さい。」オ評価していく。自己評価や特にグルーオ評価していく。自己評価や特にグループ学習では、他者評価を記入させる。私りは一斉授業の時には「先生への通信等」といった形で記入させた。「より良評価については、毎時必ずポートフォリ評価については、毎時必ずポートフォリ評価については、毎時必ずポートフォリ

3

る。 制作者としての生徒への投げかけであというように。これは、国語教室の共同

おわりに

4

自尊感情は、「共に生きる・共に創る・共に伸びる」場、つまり、自他を尊重する畑があって、初めて、芽が出て、双葉が開いて、整がの信頼感を置きながらも、ややもすると絶対の信頼感を置きながらも、ややもするとに応じて支柱を添えていくことだ。言語活動の重要性は今に始まったことではないが、極めて変化の激しい社会と情報の中で生きている今日の子ども達に、「ことば」によって人の気持ちの有り様が有意に働くことを、リアルに体験させることが有効に働くことを、地道に飽くことなく、伝え、学ばせていきたい。

とについて、現在研究中。日本教育行政学会会員。藤美奈子教授と共に「こどもの自尊感情を高める」こ校長、現在に至る。慶應義塾大学教職課程センター伊教諭に着任し、平成17年度より港区立三田中学校 副さとう あや 昭和58年、入都。文京区立茗台中学校

実践交流

古典学習への興味・関心を高める国語科学習指導 テレビドラマの動画を活用した相聞の短歌作成の実践から

福岡県田川市立田川中学校豊東瀬 仁須

はじめに

関心を高める手立てを探ることにした。すると同じような授業展開のくりかえしになってしまい、必ずしも生徒の興味・関心をなってしまい、必ずしも生徒の興味・関心をこれまで私が行ってきた古典学習は、とも

単元名 和歌の世界

古典学習に対する生徒の興味・関心

り、「好き」と回答した生徒は皆無であった。た。五%が「どちらでもない」と回答してお生徒が、古典学習に対して「嫌い」と回答し事前に行ったアンケートでは、九十五%の

万葉集の相聞の短歌への着目

聞に共感する生徒が多かった。このことに着これまでの古典学習では、恋の歌である相

らせることにした。目して、本単元では、相聞の短歌を生徒に作

「花より男子2」の動画の導入

生徒たちは、相聞の短歌に興味を示したものの、生徒自身の恋愛感情をモチーフにすることには抵抗があった。そこで、テレビドラマ「花より男子2」の二つの場面を編集して、生徒に視聴させ、その動画をモチーフにして、相聞の短歌を作らせることにした。

場面Ⅱ:道明寺の初恋の味は牧野が作ったり男子2」は一名を除いて全員が見たことがあり、授業で視聴することを楽しみにことがあり、授業で視聴することを楽しみにいる様子がうかがえた。授業中の様相観察からは、非常に意欲的に学習に参加する場面子が分かった。

スモールステップの導入

ルステップは次のとおりである。モールステップを導入した。導入したスモー相聞の短歌を生徒に作成させるために、ス

ステップ2:登場人物の本心を相聞の短歌にステップ2:登場人物の本心を相聞の短歌にで、女子は牧野つくしの立場で)書く。(男子は道明寺司の立場で)ので、女子は、登場人物の本心を

徴を取り入れた短歌にする。ステップ3:ステップ2の短歌を万葉集の特

うに指示した。等の万葉集の特徴をできるだけ取り入れるよ等の万葉集の特徴をできるだけ取り入れるよステップ3では、「五七調」「枕詞」「反復」

して書くことができた。あったため、生徒は登場人物の気持ちを想像年代の生徒たちにとって共感しやすい内容でステップ1では、動画が登場人物とほぼ同

た。 登場人物の本心を短歌にする様子が見られるテップ2では、現代仮名遣いで、自由に

またり、仮名遣いを歴史的仮名遣いにしたりしたり、仮名遣いを歴史的仮名遣いにしたりしたり、仮名遣いを歴史的仮名遣いにしたりしたり、仮名遣いを歴史的仮名遣いにしたりしたり、仮名遣いを歴史的仮名遣いにしたりしたり、仮名遣いを歴史的仮名遣いにしたりしたり、仮名遣いを歴史的仮名遣いにしたりしたり、仮名遣いを歴史的仮名遣いにしたりしたり、仮名遣いをを表する。

これることによって初めての経験である相て、生徒たちにとって初めての経験である相て、生徒たちにとって初めての経験である相になった。

) 男子生徒の作品例

焼き菓子を見て またそう思ふ道明寺 妹が好きだよ 一人いて

二人の思ひ つうじる時に戻るなら 時空を戻り あの時に

女子生徒の作品例

 \bigcirc

思ふことより 難しいのねなにゆへに 叶はない恋 現実は

そう願ひたる 恋なりしいつまでも 一緒にいたひ こころから

動画とBGMの活用による短歌の視聴

生徒が作成した相聞の短歌は、プレゼンを建徒が作成した相聞の短歌は、プラマの挿入曲をBGMとした動画を活まし、ドラマの挿入曲をBGMとした動画を活まし、ドラマの挿入曲をBGMとした動画を活した。

た。とBGMのみのスライドを生徒たちに見せとBGMのみのスライドを生徒たちに見せ

このことによって、生徒たちの学習意欲を

だうみやうぢ まことは牧野が好きなれど 己の気持ちを 言へぬまま 計きなのに 素直になれづすれ進ひ 焼き菓子を見て

プレゼンテーションスライド 短歌の作成に取りかかる前に、動画とBGM を挿入したスライドを生徒に見せた。

識をもたせることもできた。は、相互評価をさせることによって、評価意高めることができたと考える。発表の場面で

古典学習に対する興味・関心の高まり

おわりに

本単元の学習を通して、生徒の古典学習への興味・関心と学習意欲を高めることができなして、学習後も「変わらない」と回答したがして、学習後も「変わらない」と回答したが、しかし、「古典が好きか」という質問に対して、学習後も「変わらない」と回答した。

続けている。 科教育学会発起人。—OT活用による授業実践研究を 院客員研究員。教育システム情報学会会員。日本情報 院客員研究員。教育システム情報学会会員。日本情報

読解リテラシーと読書指導

•第3回

エレクトロニック・リーディングと読書指導

新潟大学

足立

エレクトロニック・リーディング

れられることである。全六六参加国・地域の Assessment:以下ERAとする) が取り入 リーディングの評価(Electronic Reading ことは、今回初めて、エレクトロニック リテラシーが中心領域となる。前回と異なる 調査に応じる予定になっている。 PISAの二○○九年調査では、再び読解 我が国を含めた二〇の国・地域がこの

のとなっている。我が国の国語科教育では といった媒体を読むことであり、この行為は ある。具体的には、ウェブページやEメール 違和感のある内容かもしれないが、欧米の読 いまや私たちの日常生活において不可欠なも ンターネットなどの電子的媒体を読むことで エレクトロニック・リーディングとは、イ

> う。 キーワードで研究されてきており、その教育 やく、調査が実態に追い付いてきたといえよ の調査の開発が難しかったからである。よう として測定したことはなかった。それは、そ でには、このような媒体を読む力を国際調査 も実際に行われてきている。しかし、これま ニューリテラシー (New Literacy) という チリテラシーズ (Multiliteracies) あるいは、 書学会では、電子的媒体を読むことは、マル

2 アクセスすること

取り出し」に重ねて、重視するようになった。 きに「アクセスする」ということを「情報の 枠組みに大きな違いはない。 の取り出し」「解釈」「熟考・評価」といった のように違うのか。結論から言うと、「情報 通常の読解リテラシーとERAはどこがど しかし、読むと

> あるかもしれない。このような一連の活動を 検索エンジンを使って、ページを開くことも 書行動である。あるいは、もっと根本的に、 開いたページに必要なことが載っているかを とがあったとして、その情報が最初のページ 表現している。 PISAの枠組みでは、「アクセスする」と 開くというのは、私たちが普段行っている読 判断し、もしもなければ、また別のページを 測しながら、必要なページを開く。あるいは にはこのようなことが書いてありそうだと推 ニューやリンクなどを手掛かりにして、ここ 考えてみよう。何か読まなければならないこ たとえば、ウェブページを読むときのことを (ホームページ)にあるとは限らない。メ

に現れる中心思想(主題)をとらえることが キストでは、筆者の一貫した主張や作品の中 めたということである。従来のペーパーのテ 体的になり、他のテキストとの関連を持ち始 ればならない。二つ目は、テキスト自体が立 いかを、読者が選びとったり探したりしなけ めばいいというのではない。何を読んだらよ のがあらかじめ提示され、それを受動的に読 ればならないということである。 者)の主体性を、これまで以上に重視しなけ 一つ目は、読むものにアクセスする人間(読 アクセスには、次の二つの強調点がある。 読むべきも

要である ントロールすることも難しくなるのである。 読んだり、そのような過程の中で反対意見を ばれた別のところを読んだり、リンクが貼ら て読むべき対象にアクセスしていくことが重 グでは、読者が主導権を握り、目的意識を持つ は低くなるし、筆者の側で読まれる順番をコ に書かれた文章に比べて、テキストの独立性 ことが、 主張しているページと合わせて読んだりする れていなくても、 重要であった。 すなわち、 行われるのである。 エレクトロニック・リーディン しかし、ハイパーリンクで結 分からないことを検索して つまり、 一枚の紙

3 これからの読書指導

りすることを指導するのは、読書指導として をつけて指導しなければならないと考える。 だけでなく、 行われてきた。 深めるために同じ作者の異なる作品を読んだ はなく読書指導が引き受けてきた。読みたい ると、これからの読書はさらに次の三点に気 たい事柄を調べたり、作者に対しての理解を 本を探したり、 読むことの指導は、 ところで、このようなアクセスを重視した 電子的媒体に拡大していくとな しかし、媒体が紙の図書資料 目次や索引を使いながら知り 我が国では、読解指導で

①読む目的を明確にさせたり、 すること 選択させたり

ある。 験させたりすることが読書指導として必要で 場合もある。そのことを意識化させたり、体 とだけが読むことの目的ではない。 明確に理解したり、 学を楽しむという目的で、 ような指導が必要である。 感させたり、 よって読み方や読むところが変わることを実 どのような目的で読むのかを、 読む目的自体を読者が選択する 読む目的を変えることに 電子的媒体を読む 情報を獲得するこ 読者自身が 純粋に文

②出典情報に関心を持たせること

という場面におかれることはなかった。 受動的な読みであっても、 報をしっかり把握し、 成し発信しているものであるか、その出典情 れを読む側においては、 でも発信することができる。 し、インターネットでは、 的保証がある。無批判に受け止めるといった 安定した評価が得られるものであるという質 も行って世の中に出る。 を吟味し、時間をかけて制作され、 らないから、編集者は企画をし、 販売される。採算がとれるものでなければな 図書は、一般的に出版社による商品として 判断しなければならな 誰がどんな意図で作 したがって、一定の 読者が非常に困る 誰でもどんな内容 そうすると、そ 著者の表現 校正など しか

> ことが必要なのである。 のであるという読む構えを作った上で、 ログだといったことを把握し、 言っていることだとか、これは であるとか、これは有名なタレントの人が いのである。これは官公庁の出している情報 そういったも 一般の人のブ

聴覚を手段としてとらえるのではなく、 とらえることは、視聴覚教材の指導、 こういうものを使いこなしていく指導をする のである。 を、体験させながら習得させることが必要な 覚情報を読むということはどういうことか として行うことが重要である。すなわち、 られてきたことがあったが、これを読書指導 べきである。我が国では、視覚・聴覚情報を たり動画が含まれたりしている場合もある。 に表現されていることが多い。また、 ものが、色を変えて、文字を変えて、 ページなどでは、メニューやリンクといった り込まれている。 に視覚・聴覚でとらえる情報がふんだんに盛 ③視聴覚情報を意識的にとらえさせること 電子的媒体では、図書資料に比べて、表現 メディアリテラシーという形で取り上げ 先ほども述べたが、 あるい ホーム

書の指導法、評価の研究を行っている。 A2009読解リテラシー国際専門委員会委員。 あだち さちこ 新潟大学教育学部准教授。 P-S 読

ことばが辞書に入る瞬間 第6回

漢字辞典を 知的に楽しむ

林 四郎 例解小学漢字辞典』編者 『三省堂

今回の辞書



第三版 新装版

あるいは二十万語とかいうように、決めます。 見出し語の数を、五万語とか、十万語とか、

国語辞典を作るときには、まず、収録する

入り方のちがい。

二十万語といったら、もう、ずいぶんな大辞

典です。

三省堂/ 2009年

して行くのかが漢字辞典です。 ます。採録された見出し漢字によって、どの で入れるかが、それぞれの漢字辞典で決まり しょう。そのほか、いわゆる表外字をどこま の字は、たいていの漢字辞典に収録されるで ように国家的なレベルで指定される何千字か です。常用漢字、人名用漢字、JIS漢字の ような日本語の単語が構成されるかを描き出 漢字辞典では、最初に決めるのが見出し字

国語辞典と漢字辞典、ことばの 漢字辞典を楽しく見る見方。

遊びのような楽しみを書いてみたいと思います。 きをして、そこに楽しみを見出して行くか、そんな 世界の中の、ある一部分を、どんなふうにたどり歩 意図と、ある三字の見出し字について、その字が持つ ここでは、『三省堂 例解小学漢字辞典』の編集

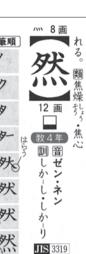
ることに、大いに力を注ぎました。 関係がよくわかるように、語構造の説明をす 造がよくわかるように説明することでした。 下に付いて、どういう単語を作るかを、 を置いています。 く熟語を観察する項目を設けて、上の字との 中でも重要視したのは、その字が他の字の ですから、この辞典では、その字が下につ

この点に着眼して、今、ここでは、下つき

の造語力を持つかを示すことに、編集の主眼 れた各漢字が、現代日本語の中で、どれだけ

例解小学漢字辞典』では、採用さ

挙がっている二字例を見ましょう。 辞典』の「然」の項目です。どんな様子か、 の字になって大きな働きをする字の の「……」の部分を表す字が、すぐ上に来る て「然」という字の働く様を見てみましょう。 ことになるからです。 「じつに……らしいようす」を表すので、そ 然」がそういう働きをするのは、この字が 左ページ上段は、『三省堂 例解小学漢字 一例とし



筆順ノクタター外の なり たり あがる」意味を持ち、火がもえあがることを いう読み方をしめしている。「エン」は「もえ 「妖ゼン」だ」が「ゼン・ネン」と

使われている。 ●そうである。そのとおりてあること。

例

表す字。借かりて、「そうであること」として

❷じつに…らしいようすで。

個平然於

●然=〈そうである〉 のとき 然が下につく熟語 名前のよみのり 上の字の働き

自然於 天然松 当然於 】ドノヨウニそうであるのか。 必然的偶然的 {「未

❷然=<じつに…らしいようすで> のとき 厳然が 猛然態 黙然恐 悠然讚 歷然點 瞭然點 漢然點 判然點 憤然點 可然點 漫然點 數然就 超然點。陶然點 同然點 突然點 暗然競 然」は「まだそうてない」 公然於 雜然於 釈然於 於然於 決然財

りますが、右のように、様子を言い表す「~ 然」には、 「ゼン」「ネン」二つの字音があ

(一目いき瞭然) 蒼然然(古色によく蒼然)】ド

ノヨウナようすか。

が一般的です。このように、漢字の有様こと くぜん」とも言いますが、「もくねん」の方 つだけ「黙然」が「もくねん」です。これ、 然」は、ほとんど皆「ゼン」である中に、一

ん。何か無いかなあと、思いをめぐらしてい けで、それ以外は思い当たるものがありませ ほかに「寂然」(じゃくねん)が思いつくだ ば「~然」で、「ねん」と発音されるもの、

わけです。

ん」は、「然」の字の働きを、

現にしている

るうちに、「ぽつねん」ということばが浮か なことが言えます。 チにひとり、ぽつねんと座す人」というよう びました。例えば、「人影の無い公園のベン また、もうしばらく考えていたら、「つく

を記していました。『大日本国語辞典』には、 辞苑』には同義語に「つくと」ということば ねんと」ということばが出て来ました。『広

> のだということが、これでわかります。です 積極的に認定する、プラスの判断姿勢を表す

くと」「つっくりと」が、同語異形として挙 ないでぼんやりしているさま。」とあり「つっ ました。『岩波古語辞典』を見ると「何もし てぞ居たる」を例として「つくと」が出てい 義経記の「むらむらと内に入って、つくとし

た。なるほど、納得しました。 きながらつくとしてこそ立ちたりけれ」でし げてありました。例文は、源平盛衰記の「危

くねん」は、漢字「然」とは関係がないもの と発音する漢字音でしたが、「ぽつねん」や「つ 「黙然」「寂然」の「然」は、確かに「ねん」

のように見えます。しかし、私たちの頭の中

様子を表しています。すなわち、これらの「ね それひとつだけでそこに孤独に存在している では、つながっていて、「つくねん」「ぽつね ん」が、いかにも「つっくり」「ぽっつり」と、

とができます。「然諾」です。「イエス」と言っ て承諾することです。このことばを、 「然」の字が上に立つ単語を一つだけ示すこ

たちは日常には殆ど使いませんが、このこと

はできません。「然り」は「そうである。」と る」を「承諾を重んずる」と言いかえること いがあることはわかります。「然諾を重んず ばが「承諾」と同じようでいて、用い方に違

字の意味を《①そうである。②じつに……ら を、 も、その意味の根本は「そうである」と判断 多く下つきの字として働いているのだけれど しいようすで。《と、二つかかげているのは、 す。『三省堂 する働きを示すことにあるのだということ から、「然」の字は、現代日本語の中では、 しっかり学習しておくことが必要なので 例解小学漢字辞典』で、この

波大学名誉教授。北京外国語大学名誉教授' 京大学国文学科卒業。国立国語研究所名誉所員。 しろう 一九二二年、東京都の生まれ。 筑 東 そういうわけです。

和力 話力 _{第3回} 輪力

子どもの考えるユーモア

前群馬大学教授 高橋 俊三

群馬大学教育学部附属中学校の校長を兼任しているとき、生徒は私の顔を見ると、洒落を言わなければいけないという強迫観念に駆られるのか、それとも、私を喜ばせてくれようと思うのか、よく洒落を仕掛けてきた。

一年生の作。廊下を歩いていると、三人の 女子が追い抜きざまに、「校長先生、葡萄一 粒どう?」と笑い掛け、走り去った。「武道 だけに一本取られた」と言う暇も無く。

二年生ともなると、英語が入ってくる。全体集会のため体育館への渡り廊下を歩いていると、前を行く五、六人の女子が、「言っちゃえ」「言っちゃえ」と、突き合っている。どうも私にであるらしい。私がおどけて、「言っちゃえ」と言うと、「校長先生、あのね、Do you want HOSHIIKA?」と来た。「干し烏賊、欲しいか?」より一格上がる。

三年生との会話。翌日に控えた公開研究会 の準備で、全校で清掃活動。参会者の控室に なる教室に入ると、三年生が熱心に掃除。教 師が黒板に「禁煙」の紙を貼っていった。

「おいおい君たち、ここで煙草を吸ってはいけないよ」と言うと、一人の男子がすかさず、「ハイ、ここでは吸いません」。何処でだって煙草など吸わない生徒たちであった。

若い頃、東京学芸大学附属世田谷中学校の教師をしているとき、幾度か、生徒たちに

ユーモア作品創作の授業をしたことがある。 三編紹介しよう。

「猿|(一年女子)

夏、我、高崎山にて猿見学。餌の時間になり猿歓喜。一心不乱に食らう。ある猿、空の落花生を食らう。激怒し暴走、木に激突。我思う、猿も走れば木に当たる、と。

「怪力ミキゴン」(二年女子)

二月四日,親友晴子嬢と登校中,我の怪力不意に出るなり。我,爆笑中晴子嬢を軽く押せるも,彼女,平衡失せて,空中飛行の後,滑走す。我,驚嘆。怪力ミキゴン出現なり。 見物人爆笑。我赤面。乙女心一ヶ月の重傷なり。

「最……低……|(三年男子)

某月某日我断髪。

鏡不使用即失敗。

両親驚愕兄狂喜。

級友爆笑前途暗。

我知切後髮長~友。

悲しいときも、辛いときも、無理に笑って、明るい雰囲気を作り、作らせましょう。

たかはし しゅんぞう 前群馬大学教授。ILEC言語教育文化研究所常務理事。NHKテレビ「話し方教室」「朗読入門」など企画出演。現在、「猫また」の45分授業で、小学生の笑いを呼ぶ授業に凝っている。



コミュニケーション未来を生みだす 清宮普美代 十 北川達夫 著

- ●定価1.575円(本体1.500円+税)
- ●四六判 ●224ページ ISBN978-4-385-36437-7

同調でも対立でもなく、協働する組織、 学び合うチームの創造に不可欠なのは、 "対話"の発想。学校と企業において「学 びとコミュニケーション」の再設計を 提唱,実践する二人のプロが織りなす, 変革と多様化の時代の対話論。

> つれているのに)ふと、この歌が過ぎりました。 り(日頃の運動不足がたたって息は上がり、足はも

まだ何を読んでも実感を伴わなかった中学生の

前は全く意識していませんでしたが山頂までの道の

つくばEXに乗り筑波山へ行ってきました。登る

陽成院『小倉百人一首』

とばの学び第20号

経ると伝統的な言語文化になるようです。

 \widehat{Y}

ことばは、想像され、折に触れ思い返され、千年

味を想像しながら。

出し合いました。つくばねの・・・ハイーこいぞ テストの度に、ノートに何度も書き、友人と問題を 頃。覚えれば確実に点が取れる暗記物として、定期

つもりてふちとなりぬるっ! 正解。たまにその意

定価 一〇〇円(本体九六円 二〇〇九年十月十五日発行

編集・発行人 八幡

〔発行所〕

株式会社 三省堂

〒一〇一-八三七一

東京都千代田区三崎町二-二二-一四

泰成印刷株式会社 TEL ○三(三三三○)九四二七[編集] 東京都墨田区両国三-一-一二 振替 東京 〇〇一六〇-五-五四三〇〇

〔印刷所

編集後記

つくばねの

峰より落つる みなの川

恋ぞつもりて

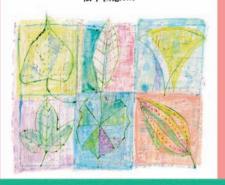
淵となりぬる

三省堂の本

書くこと」の学びを支える国語科書写の展開

「書くこと」の学びを支える 国語科書写の展開

松本仁志[著]



書写指導が子どもたちの言語生活を豊かに。

新学習指導要領では、各領域の指導事項を、言語活動例を適して学習 するというスタイルを提示しています。本書では、小学校国語科における 「書くこと」の領域の学びを支える書写指導について、その考え方や実 践のあり方を提案します。書写の校業はちょっと善手だな・・・・、という 先生にもぜひお読みいただきたい一冊です。

松本仁志 著

- ●定価1,470円(本体1,400円+税)
- ●A5判 ●120ページ ISBN978-4-385-36417-9

国語科の中で、「書くこと」の領域の学習に 密接に関わりながらも指導の方向性がなかな か定まらない書写指導。「『書くこと』の学び を支える」書写指導について、その考え方と 実践のあり方を提案します。

「伝える力」を育てる

―書くことの国語科授業アイディア―

村田伸宏・「群馬・国語教育を語る会」著



定価2,100円 (本体2,000円+税)●B5判 ●160ページ ISBN978-4-385-36433-9

新学習指導要領でも重視される伝え合う力、特に「書くこと」の能力はどうすれば身につくのか。全て実践にもとづいた、すぐに使える小・中学校の授業アイディア18本と、手軽にできるプチアイディア11本を紹介。

地域と学校をつなぐ食育

東京都日野市立東光寺小学校 編



- ●定価1,995円 (本体1,900円+税)
- ●B5判 ●112ページ ISBN978-4-385-36423-0

地場産野菜を給食に取り入れて26年。「無理なく続けましょう」を合い言葉に、地元農業を生かしながら地域・家庭と連携して続けてきた食育の実践を、地域の人々の生の声と豊富なカラー写真とともに公開!

詳しくはwebサイトをご覧ください → http://www.sanseido.co.jp/

| 凹覧 | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|